

作業療法士の働き方カタログ

特集にあたって

OTである私たちの仕事も、ひとつの「作業」である。仕事という作業を通して、私たちは自分自身の生活や人生を豊かにできているだろうか？

年齢やキャリアを重ねていけば、誰もが何かのライフイベントに会う。出産や育児、親の介護や自身の療養、研究との両立や、対象となる人への直接支援ではない働き方への転換、組織を率いる立場に立つこと、仕事をもつ一人の住民として地域の中に在ること、自分でその働き方を選んで実現させていけるときの、否応なしにその状況を受け入れることから始めなければならないときもあるだろう。

本特集では、簡単な総論に続けて、働き方という個別性の高い、パーソナルなテーマで10名の方に執筆いただいた。働き方、働くこととのかかわり方にひとつとして同じものはないが、目の前にある課題に向き合い、自分自身の価値観を変化させていく姿勢は共通している。

時代の不確実さと職域の広がりやロールモデルを示さない。働きはじめたところからリタイア後まで、多様な「働き方」に触れて、自分がどのように進んでいくかを考えるヒントになればと思う。

(遠藤千冬)

企画担当

遠藤千冬 (日本作業療法士協会, 作業療法士)

中村春基 (日本作業療法士協会, 会長・作業療法士)

山本伸一 (山梨リハビリテーション病院, 作業療法士)